

## 桐光会へのお礼メッセージ (2013 年度第 1 期)

---

### #1

この度は、桐光会奨学生として採用して頂き誠にありがとうございます。  
学納金の工面で困難な状況に立たされておりましたが、無事に学納金を納めることが出来ました。  
私以外にも様々な困難を抱えた学生がいる中で、採用して頂けた自分は本当に恵まれていると本当に感謝しております。  
今後はより一層勉学に励み、夢に向かって日々精進いたします。  
先生方をはじめ学生支援部の方々、桐光会の関係者の方々誠にありがとうございました。

外国語学部韓国語学科奨学生本人

### #2

この度は桐光会卒業支援奨学生に採用して頂き誠にありがとうございます。  
お陰様で学生生活に不安を抱くことなく有意義に過ごしております。  
体の悪い母親の負担も減らすことが出来、私をはじめ家族一同感謝の気持ちでいっぱいです。奨学金を受けた者として恥ずかしくないようより一層精進して参りたいと思います。  
卒業後は目白大学の卒業生として恥じぬよう社会の一員として頑張ります。  
末筆ながら、桐光会の益々のご発展と皆様ご健康をお祈りし、お礼の言葉とさせていただきます。

外国語学部英米語学科奨学生本人

### #3

この度は、桐光会奨学生として採用して頂き誠にありがとうございます。  
私は在学中に両親共に病気を患い、闘病の末亡くしました。精神的にも金銭的にも苦しい中、桐光会のお話を頂き無事に学費を納める事が出来ました。  
援助して下さった桐光会の皆様に恥じぬ様、卒業に向けて一層精進して参ります。  
本当にありがとうございました。

経営学部経営学科奨学生本人

**#4**

この度は、桐光会奨学生として採用して頂き誠にありがとうございました。  
私の家庭は母子家庭で、母の収入のみで経済的に苦しく、また父親からの養育費の支払いも終わり学費を納めることが困難な状況でした。就職活動の為にアルバイトを控えておりましたので、桐光会奨学生として採用して頂いたことを光栄に思います。  
今後の学生生活、就職活動、また卒業論文に尽力し一日一日を有意義に過ごし頑張ります。  
本当にありがとうございました。

人間学部こども学科奨学生本人

**#5**

この度は、桐光会奨学生として頂き誠にありがとうございます。  
父が脳底動脈梗塞で倒れ、奇跡的に生還することが出来ました。しかし復職は出来ず、母の収入のみで家計を支えており学納金の事で毎日頭を抱えておりました。秋になり、母の実母が亡くなり母の収入も減り、経済的にもさらに厳しくなりました。「四年間で大学を卒業する」という両親との約束を果たすべく、藁にすがる思いで桐光会奨学金を申請させて頂きました。  
厳しい世情にも関わらず、採用して頂いた事に私をはじめ両親も大変感謝しております。  
桐光会の皆様、学科長、ゼミの先生、周囲の方々の暖かい支えがあり、勉学のみならず就職活動にも安心して臨める事に感謝の気持ちを忘れずに残りの学生生活を過ごしていく所存です。  
桐光会奨学生の名に恥じぬよう、今以上に勉学に励んで参りたいと思います。  
ご支援を心から感謝申し上げます。

社会学部メディア表現学科奨学生本人

**#6**

この度は、桐光会奨学生として採用して頂き誠にありがとうございます。  
採用の連絡を頂くまで不安な日々を過ごしておりましたが、採用の連絡を頂きとても嬉しく思っております。残り少ない学生生活ではありますが、しっかりと勉学に励み、充実した日々を過ごしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

外国語学部英米語学科奨学生本人

**#7**

この度は、桐光会奨学生として頂き誠にありがとうございました。  
私以外にも奨学金を必要としている方がいる中で、奨学金を受け取れるとは思っていませんでした。  
本当に感謝しております。  
残り少ない大学生活を一生懸命勉学に励みたいと思っております。本当にありがとうございました。

社会学部社会情報学科奨学生本人

**#8**

この度は、桐光会奨学金選考により桐光会奨学生として採用として採用して頂き誠にありがとうございます。  
このような支援をしてくださり、感謝の気持ちを安心して学業に専念出来る喜びで胸がいっぱいです。  
それと同時に、より一層身の引き締まる思いです。春学期は私の上京により、家賃や生活費、仕送りなどで定職に就いていない母にかなり無理をさせておりました。今回奨学生として採用して頂けた事で母の負担を少しでも減らすことが出来、また安心させることが出来たのでとても嬉しく思います。  
今後も目白大学の学生の一人として学業だけではなく、私生活や身なりの点でも恥じぬようより一層努力をしていきます。そして将来の目標である学校の教師になる為に、様々な体験をし、資質、能力を磨いていこうと思います。本当にありがとうございました。

人間学部児童教育学科奨学生本人

**#9**

この度は、桐光会の奨学生として採用して頂き誠にありがとうございます。  
最終学年である4年生になった直後に突然父が病に伏し、重度の障害を患う事となってしまいました。  
父子家庭である私は経済的に大変困難な状況にありました。そんな折に桐光会の奨学金制度を知り、御支援をして頂くこととなりました。  
今では父の病状も落ち着き、リハビリに励んでおり、私達家族の生活もお陰様で安定しております。  
桐光会の奨学金制度を利用させて頂くにあたって多くの方々に相談にのってもらい、支えて頂きました。  
重ねて御礼申し上げます。

社会学部社会情報学科奨学生本人